

## 令和4年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
1	消防出初式で市消防本部が20年ぶりに更新した「救助工作車」を披露【1月】	<p>菊川市消防出初式が1月8日、消防庁舎敷地内の消防防災ヘリポートで行われ、10分間で構成する市消防団の団員をはじめ、市消防本部・消防署員、来賓などおよそ230人が参加しました。</p> <p>式終了後には、市消防本部が多様化する災害への備えとして20年ぶりに更新した救助工作車の車両展示も行われ、車両に備え付けられたLED式の発電照明装置や救助機器として積載された油圧救助器具、画像探索機、熱画像直視装置などが披露されました。</p>	
2	「令和4年菊川市成人式」2部制による分散開催により2年ぶりの対面開催【1月】	<p>令和4年菊川市成人式が1月9日、菊川文化会館アエルで開催。感染症対策として午前と午後の2部制とし、内容も簡略化して行われました。対象となる新成人524人のうち389人が出席し、力強く大人への第一歩を踏み出しました。</p> <p>式典では「20歳の決意」と題し5人の新成人代表が登壇。「これからも諦めないで、一生懸命将来の夢に向かって頑張りたいと思います」いつも私を支えてくれる家族や友人への感謝の気持ちを心に留め、夢に向かって進んでいきたいです」などと、力強く決意を述べました。</p>	
3	「令和3年度静岡県広報コンクール」で広報菊川が主要3部門で入賞【1月】	<p>静岡県広報協会が主催する「令和3年度静岡県広報コンクール」において、広報菊川7月号が「広報写真(一枚写真)」部門で優秀賞、6月号が「広報紙(市)」部門、11月号が「広報写真(組み写真)」部門で奨励賞を受賞しました。</p>	
4	静岡県内に新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が適用【1月～3月】	<p>オミクロン株による新型コロナウイルスの感染者急増を受け、1月27日から3月21日までの間、静岡県内に新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が適用されました。市では、市長メッセージを日本語に加え、多言語（ポルトガル語、英語）で放送する等、感染予防対策の徹底を呼びかけました。</p>	
5	「文学講演会」小説家いぬじゅん氏の講演をYouTubeで配信【1月】	<p>話題の小説家いぬじゅん氏を講師に招き、文学講演会を開催。菊川市を舞台とした新作小説の話題など盛りだくさんの内容を、感染症拡大防止のため有観客での講演会が中止となったことから、YouTubeで配信しました。</p>	

# 令和4年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
6	静岡県「手もみ紅茶品評会」で手もみ保存会菊川支部が上位占める【1月】	県手もみ保存会が1月20日に静岡茶市場で開催した「手もみ紅茶品評会」で、手もみ保存会菊川支部の会員が、一等一席・二等一席など上位を占めました。3月3日、品評会にて受賞された黒田一成さん、宮城徹也さん、森下直人さんが市役所を訪れ、長谷川市長へ高品質手もみ紅茶を贈呈しました。	
7	「黒田代官屋敷御城印」を平川コミュニティ協議会が作成、販売【1月～2月】	下平川にある国指定重要文化財「黒田家住宅」は、江戸時代後期に建てられた代官屋敷。もともとは中世城館だった場所に建てられていることから、平川コミュニティ協議会が「御城印」を作成しました。「代官屋敷梅まつり」の期間中に販売を行ったところ、多くの方が購入されました。	
8	「行政は最大のサービス業」お客様をお迎えるウェルカムボードによる「おもてなし」スタート【2月～】	市民の皆さんが市役所で満足して用事が済ませられるよう、サービス業並みのおもてなしを行う市役所を目指しています。その一環で始めた来客者の氏名などを記した「ウェルカムボード」が大好評。ほっこりした笑顔と共にボードの前で記念撮影をする光景がよく見られます。また、他市や他事業所でも導入されるなど広がりを見せています。	
9	(株)故紙センタートヨタと「災害時に発生する廃棄物の収集運搬等への協力に関する協定」締結【2月】	(株)故紙センタートヨタと「災害時に発生する廃棄物の収集運搬等への協力に関する協定」を締結しました。2月4日、ブラザキくんで締結式が開かれ、長谷川寛彦市長と同社の高野将史代表取締役が協定書に調印しました。同社が持つ車両やノウハウを、避難所などから出るゴミの収集運搬に役立てていきます。	
10	上倉沢の千框棚田が国の『つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～』に選定【2月】	農林水産省はこれまで、『日本の棚田百選』として、国内134地区の棚田を選定し、棚田の持つ多面的機能の維持・保全を図ってきました。令和元年度には棚田地域振興法が施行され棚田地域の振興に向けた取り組みが広がっていることから、2月14日にポスト棚田百選として『つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～』の選定が行われ、その一つに菊川市上倉沢の『千框棚田』が選ばれました。	

# 令和4年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
11	菊川東中学校が「はごろも教育研究奨励賞学校賞」を受賞【2月】	<p>「はごろも教育研究奨励会」が、県内で顕著な教育活動を実践した学校10校を発表し、菊川東中学校が10校のうちの1校に選ばれました。同校が取り組んだ「コロナ禍に教員と生徒が一致団結し、重点目標の一点突破を目指した教育活動」が評価されました。2月22日、菊川東中学校で表彰式が開かれ、はごろも教育研究奨励会代表者から同校校長へ、賞状が手渡されました。</p>	
12	奥横地にある慈眼寺の「薬師如来像」が12年ぶりに御開帳【3月】	<p>菊川市奥横地地区にある慈眼寺は、平安時代末期からこの地を治めていた横地氏の氏寺であったとも伝えられ、今もその地を御堂谷と名前が残るなど由緒が伺えます。14世紀前半に成立した法然上人行状絵図には、慈眼寺に関わる僧侶の名前をみることができるといわれています。3月6日、釈迦如来像とその胎内に納められた薬師如来像が12年ぶりに御開帳されました。</p>	
13	データ放送(dボタン)を活用した「自治体広報情報サービス」がスタート【3月】	<p>静岡朝日テレビのデータ放送(dボタン)を活用した「自治体広報情報サービス」が、3月14日からスタートしました。パソコンやスマートフォンを利用していない人などでも、ご家庭のテレビで市からの情報を見ることができるようになりました。</p>	
14	元HONDA FC所属選手 原田開さん退団報告会が開催【3月】	<p>元HONDA FC所属選手 原田開さん退団報告会が3月20日、炭焼きさわやか菊川グラウンドで開催されました。原田さんが小学生の頃に所属していた菊川サッカースポーツ少年団が主催。同チームの子どもたちや保護者らおよそ50人が、原田さんのプロでの活躍をねぎらいました。報告会后、原田さんは子どもたちとミニゲームで交流を深めました。</p>	
15	菊川東中「サクソフォン四重奏」が「中部日本個人重奏コンテスト本大会」で金賞を受賞【3月】	<p>3月26日に開催された「第34回中部日本個人重奏コンテスト本大会」に出場した菊川東中学校吹奏楽部「サクソフォン四重奏」4人が、50校出場中、13校しか選出されない金賞を受賞しました。5月9日には市長を表敬訪問し演奏を披露。4つのサクソフォンが奏でる心地よい音色が響きました。</p>	

# 令和4年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
16	東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当大臣よりホストタウン自治体として表彰【3月】	東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当大臣より、大会参加国・地域の方々等との交流を積極的に実施したホストタウンとして表彰されました。菊川市はバーレーン王国とホストタウンの締結し、8月に特産の深蒸し茶と応援メッセージを贈りました。今回、表彰された自治体は、本市を含め70自治体で県内では菊川市だけとなります。	
17	シティプロモーションと移住・定住を一体的に推進「営業戦略課」がスタート【4月】	菊川市の魅力を多くの人に知ってもらい、人を呼び込む施策を展開していくため、広報とシティプロモーション、移住・定住を一体的かつ戦略的に推進する「営業戦略課」を設置し、令和4年4月1日から業務がスタートしました。	
18	「菊川市営業戦略アドバイザー」に鬼石真裕さんが就任【4月】	マーケティングやシティプロモーション、自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に向け、令和4年4月から、菊川市出身で株式会社Cien代表取締役の鬼石真裕さんに「菊川市営業戦略アドバイザー」を委嘱しました。都内でマーケティングやDX支援などを行う会社を経営する鬼石さんには、専門的な立場から助言、提案をしていただいています。	
19	全国からカブ好きが菊川に集結「PON PON ZUPPA CUB DAY」が開催【4月】	「HONDAスーパーカブ」のオーナー、カブ好き等のミーティング「PON PON ZUPPA CUB DAY」が4月17日、菊川文化会館アエル駐車場で開催されました。全国からカブ好きが自慢の愛車に乗って集まり、およそ250台が会場に並びました。参加者はお互いの愛車を囲み語り合いながら交流を深めました。また、参加者の道中の安全を祈願して、住職による法要も行われました。	
20	「届け！平和への思い」菊川で広がるウクライナ支援の輪【4月】	ウクライナにおける人道危機を受け、ウクライナ国旗をイメージした青と黄色に「世界に平和を」と言葉を添えた缶バッジを、3月28日に開催された菊川市議会定例会で、趣旨に賛同した市議会議員や市長、市職員等が着用しました。また、4月1日から28日まで市役所本庁舎等にウクライナの人道支援のため募金箱を設置。市内外から多くの皆さんにご賛同いただき、総額109万5,969円の募金が集まりました。平和を願う皆さんのお気持ちは、在日ウクライナ大使館へお届けしました。	

# 令和4年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
21	菊川西中生がウクライナ支援の募金活動を実施【4月】	市が募金活動を行っているを知った菊川西中学校の福祉委員会が中心となり、登校の時間を利用して募金活動を実施。各教室や廊下に自作したポスターを貼るなどの工夫をし総額7万3,572円が集まり、4月26日に代表生徒が市に届けてくれました。市はお礼に平和を願う缶バッジを贈りました。	
22	田んぼアート実行委員会が「ふじのくに美しく品格のある邑づくり連合奨励賞」を受賞【5月】	田んぼアートを通して農業の魅力や地域の思いを未来に伝え、地域の活性化に寄与している点が評価され、田んぼアート実行委員会が「ふじのくに美しく品格のある邑づくり連合奨励賞」を受賞しました。5月15日、田んぼアート菊川2022お田植祭の開会式で、中遠農林事務所の佐藤欣久所長から表彰状と記念のトロフィーが、田んぼアート実行委員会の池田正会長と大橋晴治事務局長へ手渡されました。	
23	菊川地域の広い範囲で断水および水圧低下が発生【5月】	西方地内の水道管の破損により、5月20日から23日にかけて菊川地域の広い範囲で断水および水圧低下が発生しました。市民の皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。断水および水圧低下の原因となった箇所周辺は、今年度中に更新工事を実施します。また、水道管の更新計画の見直しを前倒しし、今年度から着手します。	
24	「サービス業並みの接遇を目指して」(株)たご満と人材育成に関する連携協定を締結【6月】	職員の接遇力向上の取り組みをさらに前進させるため、気持ちの良い接客で評価の高い地元企業の(株)たご満と、6月16日に『人材育成に関する連携協定』を締結しました。10月には、同社の接遇リーダー2名を講師に招き、市職員を対象とした接遇研修を開催。市の接遇の理念である「市民へのお約束10カ条」を再確認し、講師から気持ちの良いあいさつの基本を学びました。	
25	徳川家康ゆかりの地 獅子ヶ鼻砦で「おひざもと市」が初開催【6月】	6月25日、来年放送予定のNHK大河ドラマに向けて、徳川家康ゆかりの地「獅子ヶ鼻砦」のPRを目的に、砦すぐ下の蓮池公園で「おひざもと市」が初開催されました。会場には12店舗が出店し、来場者は、市のおいしいものやワークショップ、「劇団静岡県史」によるパフォーマンスなどを楽しみました。	

# 令和4年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
26	「こんなまちにしたいな未来の菊川」をテーマに菊川市子ども議会が開催【7月】	7月28日、菊川市子ども議会が開催され、市内小学校6年生の代表児童18人が子ども議員として参加しました。児童一人ひとりが緊張した面持ちで登壇し、市長や教育長、市議会議員の前で、「こんなまちにしたいな 未来の菊川」をテーマに、これからの菊川市について意見・提言を発表しました。	
27	新型コロナウイルスの急激な感染拡大を受け「静岡県医療ひっ迫警報」が発令【7月～9月】	静岡県は7月29日、新型コロナウイルスの急激な感染拡大により県内の医療体制が適切に提供できなくなる段階にあるとして、「静岡県医療ひっ迫警報」を発令しました。市では、市民の皆さんにコロナ感染を広げないために、早期のワクチン接種、適切な受診、会話や食事の際の適切なマスク着用、不要不急の外出を控えるなど、感染防止対策への御協力をお願いしました。	
28	菊川に関わる人の『わ』を拡げていくため「きくがわ応援大使」を創設【8月】	「きくがわ応援大使」は、「菊川」を大事に思う仲間との縁を結び、菊川に関わる人の『わ』を拡げていくためのプロジェクトとして営業戦略アドバイザーと共に創設し、8月9日から募集を開始しました。登録者にはオリジナル任命状の他、大使専用名刺をお送りするほか、それぞれの得意分野で個々のスキルを活かしつつ、地域との自分らしい関わり方を見出し、様々な形で菊川を応援していただいています。菊川を大切に思ってくださいる方であれば、居住地を問わずどなたでも参加いただけます。	
29	スポーツを通じた地域活性化を目的に「静岡ブルーレヴズ(株)」とパートナー協定を締結【8月】	8月9日、プロラグビーチーム静岡ブルーレヴズ(株)とスポーツを通じた地域活性化を図ることを目的にパートナー協定(包括連携協定)を締結しました。9月26日には、協定締結に基づく初の協力事業として、静岡ブルーレヴズの藤井達也コーチと、現役選手3人が講師となり、内田小6年生41人がラグビーに挑戦しました。今後もスポーツを通じた地域活性化にご協力いただけます。	
30	平和への願いを次の世代へ！市主催の「菊川市戦没者追悼式」を初開催【8月】	終戦から77回目の8月15日、「菊川市戦没者追悼式」を市が主催となり初開催しました。遺族や関係者などおよそ250人が参列。全国戦没者追悼式の中継映像に合わせ、正午の時報とともに先の大戦で犠牲となった方へ黙とうを捧げました。また、戦没者遺族の手記が朗読され、つらい戦争の体験とともに「戦争は決してしてはならない」という強い思いが読み上げられると、参列者は静かに聞き入り、平和を願う気持ちを新たにしました。	

# 令和4年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容
31	杉山花菜さんが「第24回雪梁展フィレンツェ賞展」で最高賞の「フィレンツェ大賞」受賞【8月】	<p>菊川市出身の杉山花菜(はなな)さんの作品が、絵画コンクールの「第24回雪梁展フィレンツェ賞展」において、全国から応募された164点の作品の中から最高賞の「フィレンツェ大賞」を受賞しました。受賞作品の「シンシヨク」は、北海道の自然の力強さを、塗装が剥がれかけた道路の白線を題材に、混合技法で表現した作品。杉山さんは現在、北海道の星槎道都(せいさどうと)大学に通い絵の勉強をしています。</p>  
32	菊川市と静岡鉄道(株)の連携企画「若手職員対象の課題解決型研修」を実施【9月~12月】	<p>菊川市と静岡鉄道(株)が連携して、若手職員を対象にした「課題解決型研修」を実施。市内事業者の販路拡大の検討や事業提案などを通じて、相手のニーズに応える姿勢や企画発想力、実行力の習得などを目指します。参加者が4つのグループに分かれ、9月から12月にかけて意見交換や解決策の実践・検証などを重ね、12月9日に成果発表を実施します。</p> 
33	長寿を祝い「菊川市敬老会」を3年ぶりに開催【9月】	<p>菊川市敬老会を9月18日、文化会館アエル大ホールで3年ぶりに開催。今年度は規模を縮小し、会場を文化会館アエル1カ所とし、77歳、80歳、88歳、90歳、99歳以上の高齢者1,351人を対象に実施されました。式典では長谷川市長が挨拶し、ハーモニカを演奏した他、対象者を代表して、今年100歳を迎えるお二人に、賞状と記念品が手渡されました。余興では、当市とも縁が深い落語家の立川晴の輔さんによる落語が披露され、軽妙な語り口で会場から大きな笑いを誘っていました。</p> 
34	台風15号により市内各地で多くの被害が発生【9月】	<p>9月23日に台風15号が静岡県に接近し、菊川市においても市内各地で多くの被害が発生しました。建物被害は準半壊1件、床上浸水4件、床下浸水93件。土砂崩れが120か所発生し、道路は最大で市道25か所が通行止となりました。被災箇所の復旧には順次対応しています。また、菊川市から大雨により大規模な断水が発生した静岡市へ、協定に基づき9月25日から30日までの6日間、応急給水車1台・職員2名を派遣し、応急給水を実施しました。</p> 
35	菊川茶の魅力为全国へ「9代目菊川茶娘」が決定【9月】	<p>9代目菊川茶娘コンテストが9月24日、ブラザキくるで開催され「9代目菊川茶娘」が決定しました。菊川茶のPRや消費拡大のために、市茶業協会が2年に一度行っているもの。審査会に臨んだ候補者は、同協会会長の長谷川市長らにお茶への思いなどをアピールしました。厳正なる審査により、応募者16人の中から7人の茶娘が選ばれました。</p> 

# 令和4年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容
36	茶産地・菊川の広大な茶畑を舞台に「茶畑の中心で愛を叫ぶ」初開催【10月】	<p>10月2日、菊川中央公園で家族やまちへの愛、自分の夢などを叫ぶイベント「茶畑の中心で愛を叫ぶ（菊川チャパチュー）」を初開催。高い青空と清々しい緑の茶畑に囲まれて、茶娘さんや菊川警察署員、ろうあ者と手話通訳者のグループ、菊川ご当地アイドル、子どもたちなどたくさんの方々が、心の中にある感謝の気持ちや大好きな思いを大きな声で叫びました。参加者から来年の開催を期待する声も多く寄せられ、温かな空気に包まれ無事幕を閉じました。</p> 
37	菊川市プレミアム付商品券「スマイルチケット2022」を販売【10月】	<p>長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、低迷している地域経済の活性化および物価高騰への支援のため、プレミアム率100%の商品券「スマイルチケット2022」を販売しました。</p> 
38	山口久芳さんが「第23回長野マスターズ陸上競技長野大会」でやり投げ日本新記録【10月】	<p>元菊川西中学校校長の山口久芳さんが、「第23回長野マスターズ陸上競技長野大会」で70～74歳男子の部に出場。44m99cmの日本新記録で優勝しました。10月13日には市長、教育長を表敬訪問し、「身体を『鍛える』のではなく、スポーツを楽しんで喜びを得る『喜多得る』を実践し、5年後10年後も日本新記録を更新したい」と今後の抱負を語りました。</p> 
39	安西叶翔投手、奈良間大己内野手がプロ野球ドラフト会議で日本ハムから指名【10月】	<p>2022年プロ野球ドラフト会議で、常葉大学附属菊川高校3年の安西叶翔投手が日本ハムから4位指名、菊川市出身・立正大学4年の奈良間大己内野手が日本ハムから5位指名を受けました。11月2日には菊川市役所を表敬訪問。長谷川市長と赤堀副市長からお祝いの花束を、松本教育長からは特産の深蒸し菊川茶が贈られた2人は、それぞれ力強く抱負を語りました。</p> 
40	「第18回菊川市文化祭」3年ぶりの会場開催【10月】	<p>10月29、30日の2日間、文化会館アエルで「第18回菊川市文化祭」が開催されました。市内で芸術活動を行う皆さんの活動発表の場として開催されている一大イベント。今年は3年ぶりの会場開催で、ステージ部門では楽器演奏や合唱、踊りなど18団体の発表が行われ、展示部門では生け花や書画、写真、盆栽、短歌など11団体およそ290点の作品が展示されました。</p> 

# 令和4年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
41	県外からアウトドア好きが火剣山へ「HITSURUGI CAMP2022」初開催【10月】	10月29日から30日にかけて、ふるさと納税でアウトドア用品を返礼品として選んでくれた人を招いた一泊二日のキャンプイベント「HITSURUGI CAMP2022」が、火剣山キャンプ場で開催されました。関東、関西圏など県外からも多くの人に参加し、薪割り、菊川茶の焙煎ワークショップ、テントサウナなど自然に囲まれたキャンプ場で非日常感を満喫しました。	
42	菊川でハロウィーンを楽しむ「きくがわ灯りの散歩道 ON ハロウィーン」開催【10月】	「きくがわ灯りの散歩道 ON ハロウィーン」が10月29日、きくる広場や赤レンガ倉庫等で開催されました。およそ1000人以上が来場し、一足早いハロウィーンの夜を楽しみました。地元高校生や外国人学校の児童生徒が、市民活動団体たねあかりの会員に教えてもらいながら作成した、およそ400本の大小さまざまな竹灯籠が飾られ、秋の夜を幻想的に照らし出しました。ハロウィーンをテーマにしたワークショップも行われ、菊川のまちの賑わいを創出しました。	
43	常葉大菊川高校野球部が秋季東海大会で準優勝【10月】	10月30日、秋季東海地区高校野球大会の決勝戦が草薙野球場で行われ、静岡県代表として出場した常葉大菊川高校は愛知県の東邦高校と対戦。決勝の舞台でも持ち味を生かし、果敢にプレーしました。結果は7-2で惜しくも敗れましたが、準優勝の成績を収め、来年春の選抜高校野球大会出場に向けて大きく前進しました。	
44	地域のつながりを再確認！市内各地区で「地区センター祭り」開催【11月】	住民同士の交流と親睦を深める地区最大のイベント「地区センターまつり」が市内9地区で開催されました。作品展示・芸能発表はもちろん、模擬店やゲーム、各種アトラクションなど、地区の良さを再認識し、ふるさとへの愛着を深めるといった盛りだくさんの内容。新型コロナウイルスの影響により3年ぶりに開催した地区もあり、地域の子どもからお年寄りまで、多くの皆さんが楽しみました。	
45	永年の功績をたたえ「令和4年度菊川市表彰式」を挙行【11月】	さまざまな分野で長年にわたり活躍し、菊川市の公益に寄与し、市行政の進展に特に功績があった個人や団体を表彰する「菊川市表彰式」を11月1日に挙行了しました。今年は、松下彰様(元・教育委員)、藤江たみ子様(元・体育指導委員、スポーツ推進委員)、赤堀和一様(献血への協力)、特定非営利活動法人災害救助犬静岡(代表 杉山和平様)の3人1団体の功績をたたえ表彰しました。	

## 令和4年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容
46	市内の2つの高校がコラボ開催「みんなのアソビバ&小さな収穫祭」【11月】	<p>「みんなのアソビバ&amp;小さな収穫祭」が11月3日、プラザきくるときくる広場で開催され、およそ500人が訪れました。常葉菊川高校 美術・デザイン科の生徒が企画した『みんなのアソビバ』では、アートをモチーフにしたアソビが体験できるコーナーが設けられ、子どもたちの楽しそうな笑い声が響きました。小笠高校が企画した『小さな収穫祭』では、地元農家が作った野菜や同校生徒が作った福神漬けの販売などの出店を行い、買い物客で賑わいました。</p> 
47	「スポーツレクリエーションフェスティバル KIKUGAWA 2022」3年ぶりの開催【11月】	<p>「スポーツレクリエーションフェスティバルKIKUGAWA 2022」が11月6日、おがさセントラルパークで3年ぶりに開催されました。参加者はポッチャや輪投げ、ディスクッターやフラフープなどの10種類の軽スポーツを体験。親子や友達同士で競い合いながら、さわやかな秋晴れの空の下、スポーツでの交流を楽しみました。</p> 
48	全国からバイク愛好家が菊川に集結「パニガーレMTG」開催【11月】	<p>イタリアのバイクメーカー「ドウカティ社」のスポーツバイク「パニガーレ」のオーナーなどによる交流会「パニガーレMTG」が11月6日、文化会館アエル駐車場で開催されました。バイク愛好家が北海道や四国、九州など全国から自慢の愛車に乗って集まり、パニガーレおよそ170台のほか、およそ500台のバイクが会場に集まりました。これだけの数が一堂に集まるのは、世界的にも珍しいそうです。</p> 
49	ひと・まち・くらしの元気を応援「菊川産業祭2022」が3年ぶりに開催【11月】	<p>「菊川産業祭2022」が11月13日、文化会館アエルで3年ぶりに開催。多くの来場者と活気ある出展やステージで賑わいました。出展ブースにはおよそ60の企業や団体による販売や体験コーナーが並び、ミニ茶娘による「ちゃこちゃん音頭」や、地元チームによるよさこいなど14団体が、迫力あるステージを披露。また、市出身お笑い芸人の「スパイシーガーリック」によるコントが上演されました。その他、ミニ四駆の体験コーナーや、鉄道模型の展示コーナーなどが設けられ多くの親子連れで賑わいました。</p> 
50	「菊川産業祭2022」に合わせたJR臨時快速列車が初運行【11月】	<p>11月13日、菊川産業祭2022に合わせたJR臨時快速列車「菊川de逢える号」が運行され、県東部地域などからおよそ150人が乗車しました。3両編成の車内では、菊川市のご当地タレント赤堀愁さんによる菊川の魅力紹介アナウンス、市の魅力写真の展示、菊川茶娘による深蒸し菊川茶ペットボトルやオリジナルグッズの配布などが行われ、菊川一色のおもてなしで特別な鉄道の旅を楽しんでいただきました。</p> 